

## 祝 辞

この度、晴れて令和二年度援護事業功労者厚生労働大臣表彰の栄に浴されました皆様に、衷心よりお祝いを申しあげます。

皆様には長きにわたり、戦没者遺族あるいは戦傷病者など戦争犠牲者の援護救済と福祉の向上にお力を尽くされました。皆様の献身的なご活動に敬服いたし、ここに深謝申しあげます。

皆様のご尽力と関係当局のご配慮により逐年援護施策も充実し、戦争犠牲者の方々の多くは、ようやく安定した生活を営むことができるようになりました。

しかしながら、戦争犠牲者の方々も高齢になられましたのでどうか引き続き、お力添え賜りますよう、お願い申しあげます。

終戦から七十五年が経過し、戦後生まれが社会の大半となり、戦争の記憶は風化する一方で、世界では紛争が絶えず悲しみは繰り返されています。

今日の我が国の平和と繁栄は、ひたすら祖国の安寧と家族の幸福を願った多くの方々の犠牲のうえに成り立っていることを、決して忘れることなく、二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、戦争の風化を防ぎ、平和の尊さを後世に語り継ぐため一層の努力を重ねていかなければなりません。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、表彰式が中止されましたことは、誠に残念でなりません。本来であれば、皆様に直接祝意をお伝えするところですが、書面でのご挨拶に代えさせていただきますこと、ご理解賜りますようお願いいたします。結びに、受賞されました皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念し、祝辞といたします。

令和二年十二月

一般財団法人 日本遺族会

会長

水落敏栄